

2014年度に改組した新体制による活動がスタートし、2年目となりました。今年度もご助言、ご支援をお願いいたします。

以下のように7月には春季学術研究会、9月は大会研究集会（研究協議会、PD）、11月は日韓交流会（予定）等の活動が予定されています。できるだけ多くの方々にご参加いただき、委員会活動を盛り上げたいと考えておりますので、お誘いあわせの上、ご参加下さいますようお願いいたします。また、学生をはじめご興味のある方々にお知らせいただければ幸いです。

### ■2015年度農村計画委員会春季学術研究会

#### 「“奇跡の集落”が生まれる背景とインターンシップの取組み」

新潟県は世界的にも有数の豪雪地帯である。故に高齢者をはじめとした生活弱者にとっては暮らしを継続することがより困難になりやすい。新潟の地域づくりは「克雪」という言葉にも表されるとおり、雪との戦いでもあった。こうした生活条件がきびしい地域であるが、2000年から始まった「大地の芸術祭」や中越地震からの復興まちづくりを通じて、地域内外との積極的な交流から集落の活力が取り戻されていく例が多く見られる。また、現在では短期、長期の様々なインターンシップ・プログラムも整備され、インターンを経て地域に移住する若者も出てきている。本研究会ではこうした事例を振り返りながら地域の担い手となる若者たちによる“住み継ぎ”の可能性を検討する。

日時：7月11日（土）14：00～17：30

会場：長岡震災アーカイブスセンターきおくみらい

#### プログラム

“奇跡の集落”と呼ばれるに至るまで 移住者の目線から（仮）

多田朋孔（十日町市地域おこし実行委員会 事務局長／地域おこし協力隊 OB）

移住者を受け入れる地域のあり方とは（仮）

山本浩史（十日町市地域おこし実行委員会 代表理事）

インターンを通じた人材確保 にいがたイナカレッジの取組み

日野正基（中越防災産前推進機構復興デザインセンター）

討論「小規模高齢化集落を復活させる“住み継ぎ”の可能性」

コーディネーター：田口太郎（徳島大学）／ 嵩和雄（ふるさと回帰支援センター）

コメンテーター：山崎義人（兵庫県立大学）／ 澤田雅浩（長岡造形大学）（打診中）

まとめ

\* 7月12日（日）エクスカージョンを企画中。詳細は近日中にお知らせします。

### ■2015年度大会研究集会

#### ・研究協議会

#### 「災害としなやかに付き合う知恵：集落計画にどう活かすか？」

集落における自然災害は、人々の営みと密接に関わるが故に文化的な側面をもつ。自然災害に

対応する集落のレジリエンスや災害文化とは如何なるものか、それを予め仕組むことができれば集落の減災や持続性に通じるのではないか。昨今の復興・減災計画の喫緊の課題を踏まえつつも、より長い時間や本質を見据えるべく、家々や生業・共同空間における災害文化、そこに見出せる減災・レジリエンスの知恵を計画学的視点から顕在化させたい。

日時：9月5日（土）14：15～17：30

\*冒頭15分に学会賞（論文）受賞者記念講演会を開催（講演者：山崎寿一）

#### ・PD

#### 「農山漁村の持続力を支える地域組織とは？」

過疎化・高齢化に悩む農山漁村では、住民主体の様々な組織が地域運営や課題解決のために重要な役割を果たしている。平成の市町村合併等を契機に行政のスリム化傾向が続く中、これらの地域組織が、本来は必要不可欠となる、地域の特性に応じたきめ細かい公共サービスニーズの請負や、各集落と行政（広域化した自治体等）との中間調整機能を担う等、「新たな公」あるいは「小さな役場」的役割を担うことも多くなっている。このような地域組織の先進事例動向を通して、農山漁村の持続性のありようを探りたい。

日時：9月4日（金）14：00～17：30

#### ■大会学術講演会若手優秀発表について

昨年に引き続き、今年度も以下の要領で実施いたしますので、発表する学生に周知くださるようお願いいたします。なお、これまでの選考結果はHPの大会関連に掲載されておりますのでご確認ください。

#### 審査対象者

講演会の開催年度末時点で満30歳以下の者の内、審査にエントリー\*した者とする。

\*対象者にメールでエントリーの意思確認を行う。

#### 審査方法

梗概と発表の内容で判断する。

審査員（主査幹事）2名が半日セッションを担当し、1割を目処に候補者を選出する。

本委員会において候補者の中から顕彰を決定する。

#### 顕彰と公表

農村計画委員会のHP上で、受賞者の氏名、所属、プレゼンテーションの題目を公表する。

#### ■2015年度活動計画

##### ・活動体制<敬称略>

委員長 岡田知子（西日本工業大学）

幹事 神吉紀世子（京都大学）

同 栗原伸治（日本大学）

同 北澤大佑（JARUS）

集落復興小委員会

主査：後藤隆太郎（佐賀大学）

農山漁村地域組織小委員会

主査：熊野稔（徳山工業高等専門学校）

農山漁村文化景観小委員会	主査：神吉紀世子（京都大学）
農村環境共生小委員会	主査：藤沢直樹（日本大学）
集落居住小委員会	主査：山崎義人（兵庫県立大学）
農村・国土計画小委員会	主査：柳田良造（岐阜市立女子短期大学）
ルーラルネットWG	主査：岡田知子（西日本工業大学）
アジア農村フォーラムWG	主査：栗原伸治（日本大学）

#### ・委員会予算

総計	1, 135, 000円（前年比：+ 12,000円）
内訳 本委員会	445, 000円（WG含む）
小委員会	115, 000円

#### ・その他（委員委嘱関係・敬称略）

奨励賞選考委員会委員候補：沼野夏生（東北工業大学）

論文集委員会委員：工藤和美（明石高専）、北澤大佑（JARUS）、大沼正寛（東北工業大学）

技術報告集委員会：栗原伸治（日本大学）、齋藤雪彦（千葉大学）

#### ・主な年間活動スケジュール

4/20	大会プログラム編成会議（終了） 拡大主査幹事会（終了）
7/11	<b>春季学術研究会</b> 12:00～14:00 <u>本委員会（ご都合がよければ皆さんご参加ください）</u> 14:00～17:30 春季学術研究会：長岡震災アーカイブスセンターきおくみらい 18:00～ 懇親会
7/12	春季学術研究会エクスカージョン
9/4	<b>大会</b> 東海大学（9/6まで）（開始時刻が例年より30分遅いのでご注意ください） 14:30～17:30 PD
9/5	12:30～13:45 <u>本委員会（ご都合がよければ皆さんご参加ください）</u> 14:00～14:15 学会賞（論文）受賞者記念講演（山崎寿一） 14:15～17:30 研究協議会 夕方～ 懇親会
11/	<b>日韓研究交流会</b> （予定）  委員長選挙
11/下旬	<u>本委員会</u> （予定）
2/	<u>本委員会</u> （予定）